

# 1980年 大会記録

## 国際

### ワールドカップ=フリースタイル(3月29~30日、米国・トレド)

4位(1勝3敗)

《個人順位》 48kg級 石川真一(国士館大) = 3位、 52kg級 菅野幸一(国士館大) = 4位、 57kg級 小泉順一(国士館大) = 4位、 62kg級 佐藤幸次(拓大) = 4位、 68kg級 山口敏博(国士館大) = 3位、 74kg級 田谷久雄(東洋大)、 82kg級 望月弘章(東農大)、 90kg級 伊藤勝春(丸藤シートパイル) = 4位、 100kg級 大林裕明(明大) = 5位、 100kg以上級 松浦真一(東農大) = 4位

### モスクワ五輪=不参加につき、幻の代表選手(7月21日~8月2日、ソ連・モスクワ)

#### ワ)

《フリースタイル》 48kg級 入江隆(自衛隊)、 52kg級 高田裕司(日体大研)、 57kg級 富山英明(日大研)、 62kg級 多賀恒雄(国士大助)、 68kg級 宮原章(松永製あん)、 74kg級 伊達治一郎(国士大教)、 82kg級 太田章(早大)、 90kg級 清水一夫(岡山日大高教)、 100kg級 谷津嘉章(足利工大研)、 100kg以上級 森康哲(自衛隊)

《グレコローマン》 48kg級 佐々木文和(日体大)、 52kg級 朝倉利夫(国士大助)、 57kg級 柏木究(国士大助)、 62kg級 長内清一(三八教育事務所)、 68kg級 南敏文(滋賀県体教)、 74kg級 野口次男(自衛隊)、 82kg級 高西一宏(徳島・徳島中央高教)、 90kg級 今村民夫(自衛隊)、 100kg級 藤森安一(警視庁)、 100kg以上級 宮内輝和(日大)

### カナダカップ=フリースタイル(11月14~15日、カナダ・サンダーベイ)

48kg級 入江隆(自衛隊) = 優勝、 52kg級 元沢正樹(自衛隊) = 優勝、 57kg級 富山英明(日大研) = 優勝、 64kg級 多賀恒雄(国士館大助) = 2位、 70kg級 宮原章(松永製あん) = 優勝、 76kg級 海沼邦彦(ユナイテッド・スチール) = 3位、 84kg級 太田章(早大) = 2位、 90kg級 鈴木光(ユナイテッド・スチール) = 二失、 100kg級 安藤正哉(日体大) = 3位、 100kg以上級 森康哲(自衛隊) = 4位

**カルガリー・トーナメント=フリースタイル(11月22日、カナダ・カルガリー)**

52kg級 元沢正樹(自衛隊)=優勝、 57kg級 富山英明(日大研)=優勝、 65kg級 多賀恒雄(国土館大助)=優勝、 72kg級 宮原章(松永製あん)=優勝、 76kg級 海沼邦彦(ユナイテッド・スチール)=優勝、 100kg級 鈴木光(ユナイテッド・スチール)=優勝、 安藤正哉(日体大)=2位、 100kg以上級 森康哲(自衛隊)=2位

**ワールドカップ=グレコローマン(12月1~2日、スウェーデン・トレレボリ)**

4位(3敗)

1回戦 日本 [3 - 7] スウェーデン

2回戦 日本 [3 - 7] 米国

3回戦 日本 [1 - 9] ソ連

《個人順位》 48kg級 佐々木文和(日体大)=4位、 52kg級 中村文二(和歌山・和歌山東高教)=2位、 57kg級 大野義弘(山口・上関中教)=3位、 62kg級 長内清一(青森・三八教育事務所)=2位、 68kg級 南敏文(滋賀県立体育館)=2位、 74kg級 谷一郎(日体大)=4位、 82kg級 高西一宏(徳島・徳島中央高教)=4位、 90kg級 今村民夫(自衛隊)=4位、 100kg級 吉田幸雄(八戸消防署)=4位、 100kg以上級 松永清志(和歌山県教育庁)=4位

**スーパーチャンピオンカップ=フリースタイル(12月13~14日、名古屋市・名商大)**

48kg級 石川真一(国土館大)=2位、 菊田順宏(自衛隊)=3位、 52kg級 朝倉利夫(国土館大助)=2位、 元沢正樹(自衛隊)=4位、 57kg級 富山英明(日大研)=優勝、 62kg級 、 68kg級 、 74kg級 海沼邦彦(ユナイテッド・スチール)=3位

**国内**

**モスクワ五輪第4次選考会(3月17~18日、東京・青少年総合センター)**

《フリースタイル優勝者》 48kg級 清水清人(宮崎・日南工高教)、 52kg級 高田裕司(日体大研)、 57kg級 富山英明(日大)、 62kg級 多賀恒雄(国土館大助)、 68kg級 南正昭(宮崎県教委)、 74kg級 川田勝也(ユナイテッド・スチール)、 82kg級 太田章(早大)、 90kg級 鈴木光(ユナイテッド・スチール)、 100kg級 & 100kg以上級 森康哲(自衛隊)

《グレコローマン優勝者》 48kg 級 菊田順宏(自衛隊)、 52kg 級 朝倉利夫(国士館大研)、 57kg 級 柏木究(国士館大研)、 62kg 級 長内清一(三八教育事務所)、 68kg 級 南敏文(滋賀県教委)、 74kg 級 野口次夫(自衛隊)、 82kg 級 伊沢厚(警視庁) 90kg 級 藤田孝弘(和歌山県庁) 100kg 級 藤森安一(警視庁) 100kg 以上級 松永清志(和歌山県庁)

#### **全国高校選抜大会(4月2~3日、新潟・新潟市体育館)**

《学校対抗戦》[1] 韓国・全羅北道、[2] 青森・光星学院、[3] 千葉・八千代松蔭

《個人戦優勝者》 48kg 級 小林孝至(茨城・土浦日大)、 52kg 級 菅原弘(秋田・秋田商)、 56kg 級 立道浩司(徳島・貞光工)、 60kg 級 大町忠雄(宮城・仙台育英)、 65kg 級 佐川正吉(徳島・貞光工)、 70kg 級 尹垆在(韓国・全北体育)、 75kg 級 谷川英樹(青森・光星学院)、 75kg 以上級 本田多聞(茨城・土浦日大)

#### **全日本選手権(4月27日、東京・東京体育館)**

《フリースタイル優勝者》 48kg 級 入江隆(自衛隊)、 52kg 級 高田裕司(日体大研)、 57kg 級 富山英明(日大研)、 62kg 級 多賀恒雄(国士大助)、 68kg 級 宮原章(松永製あん)、 74kg 級 伊達治一郎(国士大教)、 82kg 級 太田章(早大)、 90kg 級 清水一夫(岡山日大高教)、 100kg 級 谷津嘉章(足利工大研)、 100kg 以上級 森康哲(自衛隊)

《グレコローマン優勝者》 48kg 級 佐々木文和(日体大)、 52kg 級 朝倉利夫(国士大助)、 57kg 級 柏木究(国士大助)、 62kg 級 長内清一(三八教育事務所)、 68kg 級 南敏文(滋賀県体教)、 74kg 級 野口次男(自衛隊)、 82kg 級 高西一宏(徳島・徳島中央高教)、 90kg 級 今村民夫(自衛隊)、 100kg 級 藤森安一(警視庁)、 100kg 以上級 宮内輝和(日大)

#### **西日本学生春季新人戦(4月29日、大阪・桃山学院大)**

《フリースタイル優勝者》 48kg 級 豊田育男(福岡大)、 52kg 級 山本仁志(近大)、 57kg 級 秋山徳久(福岡大)、 62kg 級 志田育成(近大)、 68kg 級 井手雅博(福岡大)、 74kg 級 松本貴寿(福岡大)、 82kg 級 林三千年(福岡大)、 82kg 以上級 石森宏一(大体大)

フリースタイルのみ

#### **東日本学生リーグ戦(5月13~15・24日、東京・青少年総合センター、駒沢体育館)**

《順位》[1] 日体大(2年連続4度目)、[2] 日大

(A組順位)[1]日体大、[2]国士大、[3]明大、[4]東海大、[5]八戸工大、  
[6]東農大

(B組順位)[1]日大、[2]専大、[3]大東大、[4]中大、[5]東洋大、[6]  
拓大

#### **西日本学生選手権(5月23~25日、大阪・大阪府立体育会館別館)**

《フリースタイル優勝者》 48kg級 田中一成(桃山学院大)、52kg級 伊藤俊信(福岡大)、57kg級 黒本忠幸(福岡大)、62kg級 守田武史(徳山大)、68kg級 中塚弘志(徳山大)、74kg級 小形一寿(福岡大)、82kg級 宮本明宏(徳山大)、82kg以上級 石森宏一(大体大)

《グレコローマン優勝者》 48kg級 田中一成(桃山学院大)、52kg級 亀田雅彦(関大)、57kg級 佐野聰伸(徳山大)、62kg級 守田武史(徳山大)、68kg級 中塚弘志(徳山大)、74kg級 和泉憲明(徳山大)、82kg級 横山博行(関大)、82kg以上級 木村満彦(同志社大)

#### **東日本学生春季新人戦(6月17~20日、東京・青少年総合センター)**

《フリースタイル優勝者》 48kg級 大川秀和(日体大)、52kg級 佐藤満(日体大)、57kg級 佐藤新(日体大)、62kg級 栄和人(日体大)、68kg級 五位塚悟(大東大)、74kg級 岸本茂範(中大)、82kg級 東出徹(日体大)、90kg級 牧野満章(国士館大)、90kg級以上 渡辺明(日体大)

《グレコローマン優勝者》 48kg級 大川秀和(日体大)、52kg級 三宅正徳(日体大)、57kg級 青木昭之(日体大)、62kg級 栄和人(日体大)、68kg級 五位塚悟(大東大)、74kg級 西村公夫(専大)、82kg級 東出徹(日体大)、90kg級 牧野満章(国士館大)、90kg級以上 渡辺明(日体大)

#### **西日本学生春季リーグ戦(6月27~29日、大阪・大阪府立体育会館別館)**

《順位》[1]福岡大(2季ぶり8度目)、[2]徳山大、[3]大体大、[4]近大、[5]同志社大、[6]関大、

#### **全日本社会人選手権(7月5~6日、東京・青少年スポーツセンター)**

《団体戦・官公庁対抗優勝》自衛隊A、《同・実業団対抗優勝》ユニマット、《同・クラブ対抗優勝》栃の葉クラブ、《同・三部対抗優勝》自衛隊A

《フリースタイル優勝者》 48kg級 福山雄二(自衛隊)、52kg級 入江隆(自衛

隊)、 57kg 級 朝倉利夫( 国土館大助)、 62kg 級 川村昌司( 栃ノ葉ク)、 68kg 級 南正昭( 宮崎ク)、 74kg 級 小柳美代志( 栃ノ葉ク)、 82kg 級 木村年貴( 滋賀県体協)、 90kg 級 伊藤勝春( 丸藤シートパイル)、 100kg 級 藤森安一( 警視庁)、 100kg 以上級 森康哲( 自衛隊)

《グレコローマン優勝者》 48kg 級 福山雄二( 自衛隊)、 52kg 級 宮原厚次( 自衛隊)、 57kg 級 阿佐雄二( 自衛隊)、 62kg 級 藤田勅( 自衛隊)、 68kg 級 山口勝之( 和歌山県教ク)、 74kg 級 南敏文( 滋賀県体協)、 82kg 級 長島偉之( 栃ノ葉ク)、 90kg 級 伊沢厚( 警視庁)、 100kg 級 藤森安一( 警視庁)、 100kg 以上級 森康哲( 自衛隊)

#### **インターハイ( 8月2 ~ 5日、徳島・池田高)**

《学校対抗戦》[ 1 ] 茨城・土浦日大、[ 2 ]、[ 3 ]、

《個人戦優勝者》 48kg 級 小林孝至( 茨城・土浦日大)、 52kg 級 嘉納清邦( 東京・京北)、 56kg 級 柏瀬孝夫( 栃木・足利工大付)、 60kg 級 渡部祐一( 栃木・足利工大付)、 65kg 級 佐川正吉( 徳島・貞光工)、 70kg 級 湯浅邦茂( 徳島・穴吹)、 75kg 級 谷川英樹( 青森・光星学院)、 75kg 以上級 武田高広( 山形・山形商)

#### **全日本学生選手権( 8月28 ~ 31日、東京・駒沢体育館)**

《フリースタイル優勝者》 48kg 級 石川真一( 国土館大)、 52kg 級 小林利典( 大東大)、 57kg 級 横山勝正( 専大)、 62kg 級 五位塚悟( 大東大)、 68kg 級 大家岳彦( 日体大)、 74kg 級 岸本茂範( 中大)、 82kg 級 芽原功( 専大)、 90kg 級 相沢伸彦( 国土館大)、 90kg 級以上 山本邦寿( 日体大)

《グレコローマン優勝者》 48kg 級 佐々木文和( 日体大)、 52kg 級 菅野幸一( 国土館大)、 57kg 級 水谷一也( 日体大)、 62kg 級 五位塚悟( 大東大)、 68kg 級 松林栄( 日体大)、 74kg 級 谷一郎( 日体大)、 82kg 級 保坂竹道( 国土館大)、 90kg 級 西塚賢一( 明大)、 90kg 級以上 宮内輝和( 日大)

#### **西日本学生秋季新人戦( 9月14 ~ 15日、大阪・桃山学院大)**

《フリースタイル優勝者》 48kg 級 筒井基文( 近大)、 52kg 級 横山久( 同志社大)、 57kg 級 西尾章彦( 同志社大)、 62kg 級 登明夫( 近大)、 68kg 級 高橋照彦( 名商大)、 74kg 級 平山悦司( 大体大)、 82kg 級 今村岳生( 同志社大)、 82kg 以上級 石森宏一( 大体大)

《グレコローマン優勝者》 48kg 級 田中一成(桃山学院大)、 52kg 級 河原公成(近大)、 57kg 級 古川孝司(同志社大)、 62kg 級 諸岡渡(名商大)、 68kg 級 井上行浩(近大)、 74kg 級 平山悦司(大体大)、 82kg 級 今村岳生(同志社大)、 82kg 以上級 石森宏一(大体大)

**全日本学生王座決定戦(10月3~4日、東京・青少年総合センター) = 決勝成績**

日体大 [5 - 4] 日大

日体大は3年連続4度目

**国体(10月13~16日、栃木・足利工大)**

《成年フリースタイル優勝者》 48kg 級 石川利明(栃木・日大)、 52kg 級 元沢正樹(埼玉・自衛隊)、 57kg 級 富山英明(茨城・日大研)、 62kg 級 川村昌司(栃木・宇都宮農高教)、 68kg 級 宮原章(秋田・松永製あん)、 74kg 級 岸本茂範(北海道・中大)、 82kg 級 藤田末広(茨城・自衛隊)、 90kg 級 太田章(秋田・早大)、 100kg 級 谷津嘉章(栃木・足利工大研)、 100kg 以上級 松永清志(和歌山・県教育庁)

《成年グレコローマン優勝者》 48kg 級 菊田順宏(埼玉・自衛隊)、 52kg 級 宮原厚次(埼玉・自衛隊)、 57kg 級 朝倉利夫(東京・国士舘大)、 62kg 級 長内清一(青森・三八教育事務所)、 68kg 級 南敏文(滋賀・県体育館)、 74kg 級 池乗貞明(新潟・国士舘大)、 82kg 級 伊沢厚(東京・警視庁)、 90kg 級 今村民夫(埼玉・自衛隊)、 100kg 級 藤森安一(東京・警視庁)、 100kg 以上級 宮内輝和(栃木・日大)

《少年フリースタイル優勝者》 48kg 級 小林孝至(茨城・土浦日大)、 52kg 級 森岡敬志(鹿児島・鹿児島商工)、 56kg 級 柏瀬孝夫(栃木・足利工大付)、 60kg 級 田村英樹(神奈川・日大藤沢)、 65kg 級 中村勝雄(青森・光星学院)、 70kg 級 安田紀久雄(秋田・秋田経法大付)、 75kg 級 谷川英樹(青森・光星学院)、 81kg 級 水橋徹(東京・京北)、 87kg 級 三沢光晴(栃木・足利工大付)、 87kg 以上級 本田多聞(茨城・土浦日大)

《少年グレコローマン優勝者》 48kg 級 登坂修(富山・高岡一)、 52kg 級 一色啓雅(三重・松阪工)、 56kg 級 工藤健治(秋田・秋田経法大付)、 60kg 級 立道浩司(徳島・貞光工)、 65kg 級 森巧(徳島・貞光工)、 70kg 級 湯浅邦茂(徳島・穴吹)、 75kg 級 飯田克也(神奈川・日大藤沢)、 81kg 級 鈴木博(静岡・修善寺工)、 87kg 級 佐藤秀男(千葉・八千代松陰)、 87kg 以上級 武田高広(山形・山

形商)

**東日本学生グレコローマン選手権(10月28日、東京・青少年総合センター)** = 決勝  
成績

日体大 [7 - 2] 国士舘大

**全日本大学選手権(11月14~15日、滋賀・甲賀町民体育館)**

《優勝者》 48kg 級 石川真一(国士舘大)、 52kg 級 佐藤満(日体大)、 57kg 級 田中琢優(日大)、 62kg 級 栄和人(日体大)、 68kg 級 上村政和(日大)、 74kg 級 岡島克史(日体大)、 84kg 級 保坂竹道(国士舘大)、 90kg 級 茅原功(専大)、 90kg 以上級 宮内輝和(日大)

《大学対抗得点》[1] 日体大(4年連続5度目)、[2] 日大、[3] 国士舘大

**東日本学生秋季新人戦(11月18~21日、東京・青少年総合センター)**

《フリースタイル優勝者》 48kg 級 文田敏郎(日体大)、 52kg 級 井上智明(国士舘大)、 57kg 級 滝田達也(日大)、 62kg 級 内山正美(日体大)、 68kg 級 栄和人(日体大)、 74kg 級 樋口直巳(日体大)、 82kg 級 上村政和(日大)、 90kg 級 位寄正司(東洋大)、 90kg 級以上 田端久和(法大)

《グレコローマン優勝者》 48kg 級 文田敏郎(日体大)、 52kg 級 井上智明(国士舘大)、 57kg 級 成田順房(専大)、 62kg 級 斉藤稔(中大)、 68kg 級 中島則之(日体大)、 74kg 級 岸本茂範(中大)、 82kg 級 樋口直巳(日体大)、 90kg 級 曾根哲郎(法大)、 90kg 級以上 宮田竜治(中大)

**西日本学生秋季リーグ戦(11月22~24日、大阪・大阪府立体育会館別館)**

《順位》[1] 福岡大(2季連続9度目)、[2] 徳山大、[3] 近大、[4] 同志社大、[5] 大体大、[6] 名古屋商大